

しろいし

shiroishi city council paper

市議会だより

2023年
秋
A U T U M N
第211号

白石市議会議員 改選後の初議会



- | | | | |
|------|-----------------|--------|----------------|
| 2P | 議長・副議長就任のあいさつ | 8～9P | 決算審査特別委員会 |
| 3P | 新議員の紹介 | 10P | 予算審査特別委員会 |
| 4P | 8月臨時会 | 11～15P | 市政に対する一般質問(9名) |
| 4～5P | 委員会・会派の構成 | 16P | 人事・意見書・編集後記 |
| 6～7P | 9月定例会の概要・審議した議案 | | |

白石市民の代表

新市議会議員をご紹介します

令和5年7月23日、任期満了に伴う白石市議会議員一般選挙の投票が行われ、即日開票の結果、16人の新議員が誕生しました。改選後、初の臨時会が8月10日に招集され、第29代議長に松野久郎議員、第22代副議長に佐藤秀行議員が選任されました。

就任のあいさつ

議長 松野久郎

8月の臨時会において、第29代議長に就任いたしました。限りなく光栄に存じますとともに、その責任の重さを感じ、今後、円滑なる議会運営と議会のさらなる活性化に努めていく所存です。

我が国の地方自治の本旨は、議会と執行部は共に切磋琢磨して、社会福祉をはじめとした市民生活の向上に努めていくという二元代表制の翼を担っております。本市においても、市長としっかりとした議論を重ね、市民のための施策を実践していくことが、明日の地方自治発展につながるものと確信しております。

依然として厳しい財政状況ではありますが、活力と魅力にあふれ、安全で住みやすいまちづくりを進めていくことが、市民の皆さまの一致した願いです。その認識に立ち、その負託に応えるべく、全力で取り組んでまいります。

引き続き議会に対し、ご支援、ご理解を賜りますようお願い申し上げます。

副議長 佐藤秀行

このたび、改選後初の臨時会が招集され、第22代副議長に就任いたしました。身に余る光栄でありますとともに、その責任の重さを痛感し、身の引き締まる思いです。議長を支え、補佐役またサポート役として、公正かつ円滑な議会運営に、そして議会の活性化に努めてまいります決意であります。

本市においても、子育て支援、高齢者福祉の充実、教育環境の整備など、さまざまな問題に取り組んでいかなければなりません。今後、新たな気持ちで議員活動に取り組み、市政のさらなる発展のため、微力ではありますが、力を注いでまいります。

市民の皆さまには今後とも、市議会の活動につきましても、ご理解、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。



【凡例】 ①会派、②所属政党、③常任委員会(◎委員長、○副委員長)、④当選回数(写真左上は議席番号)

16



議長
まつの ひさお
松野 久郎(70歳)
①新風未来の会
②無所属
③総務産業建設
④ 3回

15



副議長
さとう ひでゆき
佐藤 秀行(66歳)
①新風未来の会
②無所属
③厚生文教
④ 3回

1



さとう たつひこ
佐藤 龍彦(44歳)
①日本共産党
②日本共産党
③厚生文教
④ 3回

2



たかこ ひであき
高子 秀明(52歳)
①自民市民の会
②無所属
③厚生文教
④ 2回

3



いとう かつみ
伊藤 勝美(64歳)
①自民市民の会
②無所属
③総務産業建設
④ 4回

4



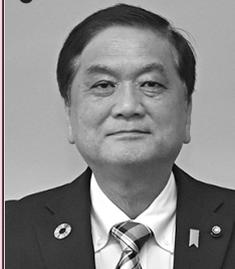
しぶや まさよし
澁谷 政義(71歳)
①自民市民の会
②無所属
③総務産業建設
④ 4回

5



ぬまくら けいすけ
沼倉 啓介(74歳)
①自民市民の会
②無所属
③厚生文教
④ 7回

6



おおもり たかゆき
大森 貴之(65歳)
①公明党
②公明党
③総務産業建設◎
④ 2回

7



さくま よしろう
佐久間儀郎(72歳)
①新風未来の会
②無所属
③厚生文教○
④ 5回

8



しま ひとお
四竈 英夫(77歳)
①新風未来の会
②無所属
③総務産業建設○
④ 6回

9



おがわ まさと
小川 正人(76歳)
①新風未来の会
②無所属
③総務産業建設
④ 8回

10



かくばり だいじ
角張 大治(35歳)
①新風未来の会
②無所属
③総務産業建設
④ 1回

11



おouchi たくや
大内 卓也(37歳)
①新風未来の会
②無所属
③総務産業建設
④ 1回

12



さくま じみこ
佐久間順子(43歳)
①新風未来の会
②無所属
③厚生文教
④ 1回

13



むらかみ ゆき
村上 由紀(54歳)
①新風未来の会
②無所属
③厚生文教
④ 1回

14



かくばり いちろう
角張 一郎(71歳)
①新風未来の会
②無所属
③厚生文教◎
④ 2回

図書室運営委員会(5人)	
議会図書室の運営に関する ことについて協議します。	
委員	佐藤龍彦 角張大也 大内卓也 佐久間順子 村上由紀

仙南地域広域行政事務組合議会議員(2人)
松野久郎 小川正人

宮城県後期高齢者医療広域連合議会議員(1人)
大森貴之

会派の構成 (令和5年7月31日現在)

新風未来の会	会長 小川正人 幹事長 角張一郎 佐久間儀郎 佐藤秀行 大内卓也	副会長 四竈英夫 会計 村上由紀 松野久郎 佐久間順子 角張大治
自民市民の会	会長 沼倉啓介 幹事長 伊藤勝美	副会長 澁谷政義 会計 高子秀明
日本共産党	佐藤龍彦	
公明党	大森貴之	

8月臨時会

令和5年8月10日、市議会議員改選後初となる第463回市議会臨時会が開かれ、正副議長の選挙や議会運営委員会・常任委員会等の委員の選任を行いました。

また、市長提出議案2件の審議を行い、全会一致で同意・可決しました。

命化事業に係る工事委託料を減額し、予算の総額を181億3千229万9千円とするものです。

議長・副議長の選挙結果

議長選挙

○投票総数	16票
○有効投票	14票
○無効投票	2票
○有効投票中	
松野久郎	14票

副議長選挙

○投票総数	16票
○有効投票	13票
○無効投票	3票
○有効投票中	
佐藤秀行	13票

監査委員(議会選出)

四竈英夫

◎第70号議案

令和5年度白石市一般会計
補正予算(第5号)

原案可決

主な内容は、市制施行70周年記念事業のロゴマーク作成に要する費用の増額と、橋梁長寿



委員会の構成が変わりました

8月10日に行われた第463回臨時会において、各委員会の委員の選任が行われました。

総務産業建設常任委員会(8人)	厚生文教常任委員会(8人)	議会運営委員会(7人)
<p>総合計画、財政、市税、生活環境、農業、商工業、観光などに関することについて、審査や調査をします。</p> <p>委員長 大森 貴之 副委員長 四竈 英夫 委員 伊藤 勝美 澁谷 政義 小川 正人 角張 大治 大内 卓也 松野 久郎</p>	<p>社会福祉、保健衛生、教育、生涯学習などに関することについて、審査や調査をします。</p> <p>委員長 角張 一郎 副委員長 佐久間 儀郎 委員 佐藤 龍彦 高子 秀明 沼倉 啓介 佐久間 順子 村上 由紀 佐藤 秀行</p>	<p>議会の運営、会議規則、委員会条例などに関することについて、審査や調査をします。</p> <p>委員長 佐久間 儀郎 副委員長 大森 貴之 委員 伊藤 勝美 澁谷 政義 四竈 英夫 角張 大治 角張 一郎</p>
議会広報委員会(8人)	政策企画調整会議(8人)	議会改革推進会議(8人以内)
<p>市議会だよりの編集や市議会ホームページの運用に関することについて、協議・調整をします。</p> <p>委員長 四竈 英夫 副委員長 村上 由紀 委員 佐藤 龍彦 高子 秀明 大森 貴之 角張 大治 大内 卓也 佐久間 順子</p>	<p>広聴活動による市民意見等を政策立案や提言とするため、議会としての対応方針等に関することについて、協議・調整をします。</p> <p>委員長 四竈 英夫 副委員長 角張 一郎 委員 大森 貴之 佐久間 儀郎 角張 大治 大内 卓也 佐久間 順子 村上 由紀</p>	<p>議会の在り方や議会改革が必要な諸課題に関することについて、協議・調整をします。</p> <p>委員長 佐久間 儀郎 副委員長 大森 貴之 委員 佐藤 龍彦 高子 秀明 伊藤 勝美 大内 卓也 佐久間 順子 角張 一郎</p>

9月定例会 令和4年度決算を認定 一般会計補正予算など18議案可決

令和5年9月定例会は、9月1日から9月22日までの22日間の日程で開催されました。定例会初日、市長提出議案は、人事等4件、令和4年度各会計決算の認定等4件、条例3件、令和5年度各会計補正予算5件の計16件でした。これらの議案について、提案理由の説明がなされ、このうち第71号議案から第74号議案は、採決の結果、全会致で同意・可決しました。一般質問は、9月4日と9月5日の2日間にわたり、9名の議員が質問を行いました。4日目、第75号議案から第78号議案の質疑が行われ、決算審査特別委員会に審査が付託されました。5日目、第79号議案から第86号議案の質疑が行われ、条例3議案は、採決の結果、全会致で原案のとおり可決、予算の5議案は、予算審査特別委員会に審査が付託されました。定例会最終日、本会議において各委員長報告を行なった後、採決の結果、いずれも全会致で原案のとおり可決しました。同日、市長提出議案1件（第87号議案）が追加提案され、質疑を経て、採決の結果、全会致で原案のとおり可決しました。また、議員提出議案1件（議提第6号）が上程され、採決の結果、全会致で原案のとおり可決しました。



市長の提案理由説明

審議した議案の主なものは次のとおりです。

条例等

◎東北本線白石駅構内こ線歩道橋補修工事協定書の締結について

条例の規定に基づき、議会の議決を得て協定を締結するものです。

●協定の目的

東北本線白石駅構内こ線歩道橋補修工事

●協定の方法

随意契約

●協定の金額

4億4千973万8千円

●協定の相手方

東日本旅客鉄道株式会社

9月定例会で審議した議案

議案番号	件名	審議結果
第71号	市長提案 固定資産評価審査委員会委員の選任について	同意
第72号	教育委員会委員の任命について	同意
第73号	人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求めることについて	同意
第74号	東北本線白石駅構内こ線歩道橋補修工事協定書の締結について	原案可決
第75号	令和4年度白石市一般会計及び特別会計歳入歳出決算の認定について	認定
第76号	令和4年度白石市水道事業会計利益の処分及び決算の認定並びに白石市下水道事業会計決算の認定について	原案可決及び認定
第77号	令和4年度白石市外二町組合一般会計歳入歳出決算の認定について	認定
第78号	令和4年度白石市外一町組合病院事業会計決算の認定について	認定
第79号	白石市印鑑の登録及び証明に関する条例の一部を改正する条例	原案可決
第80号	白石市手数料条例の一部を改正する条例	原案可決
第81号	白石市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	原案可決
第82号	令和5年度白石市一般会計補正予算(第6号)	原案可決
第83号	令和5年度白石市国民健康保険特別会計補正予算(第2号)	原案可決
第84号	令和5年度白石市介護保険特別会計補正予算(第2号)	原案可決
第85号	令和5年度白石市後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)	原案可決
第86号	令和5年度白石市病院事業会計補正予算(第2号)	原案可決
第87号	令和5年度白石市一般会計補正予算(第7号)	原案可決
第6号	議員提案 宮城県乳幼児医療費助成制度(子どもの医療費助成制度)の拡充を求める意見書	原案可決

○白石市印鑑の登録及び証明に関する条例の一部を改正する条例

今年度導入予定のマイナンバーカードを利用したオンライン申請に限り、印鑑登録証明書の交付を申請する際に必要な印鑑登録証の提示を不要とし、郵送により交付するため、条例の一部を改正するものです。

予 算

○令和5年度白石市一般会計補正予算(第6号)

これまでの歳入歳出予算にそれぞれ10億7千831万8千円追加し、予算総額を192億1千61万7千円とするものです。主な内容は次のとおりです。

- 病院事業会計出資金 8億7千170万円
- 畜産振興事業 1千108万2千円
- 白石蔵王駅発車ベル改良事業(市制施行70周年記念事業) 113万8千円
- 白石スキー場車庫復旧事業 7千922万9千円

○道路維持補修費(除雪関連経費) 6千781万7千円

○スパッシュランドパーク花木植替事業 150万円

○益岡公園トイレ改修事業 715万円

○中央公民館駐車場整備事業 650万円

○令和5年度白石市一般会計補正予算(第7号)(定例会最終日提案)

令和4年3月の福島県沖地震で被災したホワイトキューブの災害復旧に係る費用として、これまでの歳入歳出予算にそれぞれ17億7千231万6千円追加し、予算総額を209億8千293万3千円とするものです。

本会議質疑より

○令和4年度白石市一般会計及び特別会計歳入歳出決算の認定について

〔質疑〕新型コロナウイルスの感染拡大、ウクライナ侵攻の影響による物価高が市民生活

に大きな影響を及ぼした令和4年度であった。第六次白石市総合計画2年目として、さまざまな施策を推進してきたが、結果的に実質単年度収支額で7億3千276万2千円の赤字計上となった。

この結果をどのように総括しているか伺う。

〔答弁〕前年度に引き続き、新型コロナウイルス対策と物価高騰対策、令和3年・4年の福島県沖地震、公立刈田総合病院の運営形態見直しなど多くの課題に取り組み、大きな成果を上げた一年と考えている。

赤字の主な要因は、公立刈田総合病院への負担金・補助金・出資金が、合計16億8千30万円となったことである。

これまで公立刈田総合病院は、構成市町からの多額の繰入金前提の経営を行い、市の財政運営も不安を抱え、先が見通せなかったことから、令和4年度末で白石市外二町組合を解散し、公設民営化を図ることになった。

償還、指定管理者委託料、交付金等に絞られ、病院運営における赤字分の負担がなくなることから、明るい将来展望が見えた決算であったと受け止めている。

〔質疑〕公立刈田総合病院の公設民営化、不登校特例校(通称白石きぼう学園)の開校、スマートインターチェンジ周辺の整備など、将来に向けて大きく動き出した1年だったと思うが、所感を伺う。

〔答弁〕さまざまな課題に積極果敢にチャレンジしていくことが重要であり、国全体がさらに人口減少、少子高齢化が進展していく中において、持続可能な白石市を何としても作り上げていかなければならない、これが根本的なスタンスである。

次の世代に借金や課題を先送りすることなく、将来に向けて市民の協力・理解をいただきながら、さまざまな市政課題に取り組んでいきたいと考えている。

公立刈田総合病院の公設民営化に向けた見通しをつけることができたこと、また、全国的に不登校の児童・生徒が増え

る中、本年4月から全国3番目となる小中一貫の不登校特例校を開校するため準備をしていた。通称白石きぼう学園には、市外からも家族で移住して通っている子どももいる。

より充実した地域医療、教育・子育ての環境を整備していくことにより、「選ばれるまち白石市」になっていくものと確信している。

○令和5年度白石市一般会計補正予算(第7号)(定例会最終日提案)

〔質疑〕ホワイトキューブの災害復旧工事について、いつ頃の完成を目指しているか伺う。

〔答弁〕安全を最優先に、市制施行70周年の記念事業の開催に間に合わせるよう、できる限り早い復旧を目指していきたい。

国の補助の関係から、原形復旧を基本とするが、現在の建築基準をクリアし、音楽ホールとしての特性や建築的な価値も考慮しながら進めていきたい。

決算審査特別委員会

第75号議案・令和4年度白石市一般会計及び特別会計歳入歳出決算の認定についてから第78号議案・令和4年度白石市外二町組合病院事業会計決算の認定についての4議案は、定例会4日目(9月11日)の本会議において質疑が行われた後、議長および監査委員(四竈英夫)を除く全議員で構成する決算審査特別委員会が設置され、審査が付託されました。同委員会(委員長・角張一郎、副委員長・大森貴之)は、9月13日に審査を行い、採決の結果、全会一致で原案のとおり可決及び認定しました。

審査の中で議論された主な点は次のとおりです。

一般会計

総務費

〔質疑〕ふるさと納税推進事業について、令和4年度は寄付受入額が減少しているが、この要因について、どのように分析しているか伺う。

〔答弁〕令和4年度の寄付額は6億4千426万9千200円で、令和3年度と比較すると、14.2%の減少となっている。

全国的な寄付受入額は増加傾向にあるものの、物価高騰等の影響により、日用品への寄付が増加していることが、寄付額減少の要因と推察している。6億円を超える寄付をいたしたことは、本市の返礼品の認知度が向上したことによるものと考えている。

〔質疑〕広報広聴の状況について、令和4年度は公式ホームページのアクセス数が大きく減少しているが、この要因について、どのように分析しているか伺う。

〔答弁〕令和4年度は、前年度と比較すると、約16%減少したが、各公式アカウントのライン、フェイスブック、ユーチューブなど、ホームページ以外にも市の情報発信を増やしたことが要因の一つであると考えている。また、令和4年度は大きな災害等が少なかったことも、アクセス数が減少した一因であると考えている。

〔質疑〕自治会長との地区懇談会、スマイルメール、ご意見ご要望メール等、市民からの提案や提言を実際に市政に生かされたものがあつたのか伺う。

〔答弁〕早急に対応が必要なものについては担当課で措置したものもある。県道や河川の浚渫(しゅんせつ)等へのご意見は、担当課から県に伝え、市道に対する要望については現地調査を行い、随時対応している。

また、保育園の提出書類の一部について、保護者の負担軽減のため、改善を図ったところである。

〔質疑〕市民バスの運営状況について、令和4年度の利用者数が減少しているが、この要因について、どのように分析しているか伺う。

〔答弁〕令和4年度は、中心市街地循環便と合わせ、市民バス9路線全体で8万948人の利用があつたが、前年度と比較すると、3千767人、4.4%の減少となっている。

減少の要因として、人口減少、少子高齢化の進展や、コロナ禍の影響による外出自粛、観光客の減少が一因と考えている。

〔質疑〕アンケート等で、バス利用者や地域の声を聞く機会があつたのか伺う。

〔答弁〕令和5年3月末の地域公共交通計画策定においてアンケート調査等を実施した。

調査の結果から、「バス停まで歩いていけない」「タクシーは年金受給者に負担が多い」「地区の行事があつても移動手段がない」等の意見が多数あつた。

また、公共交通を担うバス、タクシー事業者からは、「運転

手の高齢化、運転手不足により、現状の運行が限界である」「人件費・燃料費の高騰で新たな投資ができない」との意見もあつた。

市民バスの運賃、目的地までの時間における満足度については高い傾向にあり、鉄道との乗り継ぎや、待合空間、運行時間帯の満足度については低いという傾向であつた。

今後、市内中心部への買い物、通院・通学のアクセス向上のため、市街地循環便と既存路線の乗り継ぎの円滑化を図っていきたいと考える。

〔質疑〕定住促進事業における、移住フェアの参加について、どのような内容か伺う。

〔答弁〕令和4年度は、宮城県や各団体等が東京都内で開催するイベントに出展する形で3回参加し、首都圏在住の方々を中心に移住の相談を行なつた。

現時点で移住につながつた方はいないが、数年後の移住を考えているという声もあつたことから、メールやSNS等を活用し、本市に関心を持っている方

令和4年度 一般会計・特別会計決算の状況

[単位：円]

会計名	歳入決算額	歳出決算額	差引額
一般会計	19,849,239,605	19,272,176,378	577,063,227
特別会計	8,316,704,641	7,951,006,700	365,697,941
国民健康保険	3,724,095,594	3,670,513,495	53,582,099
介護保険	4,107,723,011	3,823,990,644	283,732,367
後期高齢者医療	484,886,036	456,502,561	28,383,475
合計	28,165,944,246	27,223,183,078	942,761,168

令和4年度 地方公営企業会計決算の収支状況

[水道事業] (消費税相当額を含む) [単位：円]

項目	収入	支出
収益的収支	903,211,284	814,630,248
資本的収支	143,689,851	306,001,127

[下水道事業]

項目	収入	支出
収益的収支	987,924,332	884,423,963
資本的収支	430,288,303	820,995,179

令和4年度 白石市外二町組合 一般会計決算の状況

[単位：円]

会計名	歳入決算額	歳出決算額	差引額
一般会計	2,833,578	2,469,174	364,404

令和4年度 白石市外二町組合 病院事業会計決算の収支状況

(消費税相当額を含む) [単位：円]

項目	収入	支出
収益的収支	3,384,819,709	3,907,534,703
資本的収支	1,222,147,000	1,251,702,406

とのつながりを絶やささないよう、引き続き情報発信に努め、各フエアに参加していきたいと考えている。

土木費

【質疑】空き家等対策事業における、空き家の相談について

「所有者等に維持管理のお願いを通知したことなどにより適正化が図られ、90件中60件の対応が終了した」としているが、相談継続の30件については、どのような対応を行なっているのか伺う。

【答弁】相談継続となっているものには、相続関係の調査がまだ継続しているものも多く、特に県外の方だと調査に時間を要し、その後通知をしても連絡がなく、対応できない場合もある。

このような状況も数多くあることから、引き続き通報者や近隣への聞き取り、自治会等に情報をいただきながら進めているところである。

【質疑】後期高齢者医療事業について、具体的な内容を伺う。

【答弁】高齢者の健康保持増進として、検診事業等を行なっている。また、「高齢者の保健事業と介護予防の一体的な実施」については、宮城県や後期高齢者広域連合が行う研修会に参加している。

教育費

【質疑】学力向上プロジェクト事業における、標準学力調査について、「個々の状態の把握を目的として実施し、冬季休業中に個別の課題を課すことができた」としているが、その具体的な内容を伺う。

【答弁】学力調査の結果は一人一人の個票が返ってくるもので、学力が落ちている部分を担任が把握し、個々に見合った内容をAードリル等も含めながら、冬休みの課題として出したものである。

特別会計

本市の特徴として、年齢を問わず高血圧で治療している方が多いこと、健康診査、医療機関のいずれも受診していない、健康状態不明の方が340人程度いること、75歳以上の要介護者の有病率として、筋骨格系の疾患が多く占めていることなどが分かってきた。

これらのことを踏まえ、令和6年4月から、国が推進する「高齢者の保健事業と介護予防の一体的な実施」事業の開始に向けて、現在、準備を進めているところである。

予算審査特別委員会

第82号議案・令和5年度白石市一般会計補正予算(第6号)から第86号議案・令和5年度白石市病院事業会計補正予算(第2号)の計5議案について、定例会5日目(9月12日)の本会議において質疑が行われた後、議長を除く全議員で構成する予算審査特別委員会が設置され、審査が付託されました。

同委員会(委員長・四竈英夫、副委員長・佐久間儀郎)は、9月15日に審査を行い、すべての議案について採決の結果、全会一致で原案のとおり可決しました。審査の中で議論された主な点は次のとおりです。

◎令和5年度白石市一般会計補正予算(第6号)

総務費

〔質疑〕公立刈田総合病院の清算の関係で、白石市外二町組合解散に係る概算清算金返還金が計上されているが、最終的に、本市の負債に対する負担はどのくらいになっているか伺う。

〔答弁〕病院事業と密接な関連性がある財産は事務承継財産であるため、清算金の計算から取り除いて資産の部から負債

の部を計算した結果、31億3千273万5千525円のマイナスとなり、そのうち、白石市の負担割合である86.7%、27億1千608万1千700円が本市の負債となっている。病院の企業債は、約70億円から二町からの清算金約4億1千600万円を差し引いたものとなる。

農林水産業費

〔質疑〕畜産振興事業における、配合飼料高騰対策補助金について、算出した件数の根

拠を伺う。

〔答弁〕当補助金は、高騰が続く配合飼料価格の補てんを行うもので、家畜伝染予防法で届け出のある牛60件、豚6件、鶏1件を対象に算出を行なっている。

商工費

〔質疑〕白石蔵王駅発車ベル改良事業について、内容を伺う。

〔答弁〕市制施行70周年記念事業の一つとして、白石蔵王駅で流れる新幹線の発車ベルを「白石音頭」と「白石市民歌」に変更するため、白石蔵王駅の放送システムの改良にかかる費用を負担するものである。

来年4月から実現できるよう進めていきたいと考えている。

土木費

〔質疑〕道路維持補修費における、除雪費用について、今シーズンはどのくらいの回数を

予定しているのか伺う。

〔答弁〕除雪・融雪の出勤回数は、令和4年度は約280回、雪が多かった令和3年度は約480回となっている。

除雪関連の経費は、過去3年間の推移等を参考に計上しており、今年度は人件費、燃料、リース料の高騰分を加え、昨年度同様、約300回を目安に計上している。

〔質疑〕スパッシュランドパーク花木植替事業について、開花状況が悪化しているシバザクラの二画に、管理がしやすく繁殖しやすい品種「宿根フロックスフォーエバーピンク」の植え替えを試験的に行うとのことだが、本格的に導入した場合、どのくらいの予算になるのか伺う。

〔答弁〕今回予定している移植株数は約1千株で、100平方メートル程度の植え替えが可能であると考えている。

今回の植え替えて、無事に生育することが確認された場合は、シバザクラの花壇約1千400平方メートルの植え替えを考えているが、面積は14倍

となることから、約2千万円程度かかるのではないかと考える。

〔質疑〕今回の植え替え、生育が成功した場合、維持管理にかかるコストは下がる見込みなのか。

〔答弁〕引き続き、花壇の除草等は必要であるが、土壌改良や、現在行なっている補植が少なくなることから、維持管理にかかる費用は減少すると考えている。

消防費

〔質疑〕消防団等運営経費について、近年、頻発する林野火災等に対応するため「背負い式水う(ジェットシューター)」を整備することなどが、何台導入する予定なのか伺う。

〔答弁〕現在の15台に加え、30台を計画している。消防署に括で配置し、火災の状況によって全分団が使えるようにする。白石分団では、花火の警戒等にも使用している。

市政に 対する 一般質問

〰〰〰9名の議員が質問〰〰〰

9月定例会の一般質問は、9月4日・5日の2日間にわたりに行われました。質問の要旨は次のとおりです。

高子 秀明 白石市学校教育・保育審議会答申における学校再編に関して

大内 卓也 本市の廃校活用について

佐藤 龍彦 市道の維持管理(除草)について

佐久間儀郎 公立刈田総合病院の運営状況について

村上 由紀 学力向上について

佐久間順子 未就学の発達障害の支援について

大森 貴之 市・施設防犯カメラの増設について

角張 大治 今後の本市の行財政運営について

四竈 英夫 新議会に対する市長の所感と期待について

白石市学校教育・保育審議会答申 における学校再編に関して

高子 秀明



あったと考える。

〔質問〕審議会において、本市の「全国学力・学習状況調査」の結果に係る今後の課題を加味した学校再編の審議を進めてきたのか伺う。

〔答弁〕〔教育長〕審議を進めるにあたり、答申の内容から、公表している本市全体の全国学力・学習状況調査の結果と分析の内容、特色ある教育活動、また、学校規模と学力の関係といった学びの環境等、さまざまな観点から総合的に判断し、答申を作成したと認識をしており、全国学力学習状況調査の結果はその勘案する一つの材料で

〔質問〕地方教育行政の組織及び運営に関する法律第47条の5に基づいた学校運営協議会制度「コミュニティスクール」について、各地の事例を参考にし、本市にとって最適であるからして導入を提案されたと察するが、具体的な事例をもとに「コミュニティスクール」についての見解を伺う。

〔答弁〕〔教育長〕市内においては令和2年度より小原小・中学校に導入をしている。「コミュニティスクール」は、地域とともにある学校づくりにおいて、保護者や地域住民が一定の権限と責任を持って学校運営に直接参画するものであることから、審議会においては、その趣

旨や方策が、答申を作成するにあたり、今後の学校経営に重要であると話し合われたことにより、「コミュニティスクール」の導入を取り入れたものとして認識している。

〔質問〕本市が新たに2026年度オープンを目指す整備を検討する全天候型の市民プールの候補地として、福岡中学校敷地内が浮上。市民も利用できる学校プールを基本とするとの新聞報道があった。学校再編案との兼ね合いについて、詳細を伺う。

〔答弁〕〔市長〕教育委員会から、市内の小・中学校、児童・生徒が時期を問わず利用できるよう、利便性の良い場所に全天候型プールの整備を行うよう要望されているところである。学校再編に係る市の方針は未定であり、プールに関しては別の課題とご理解をいただきたい。

本市の廃校活用について

大内 卓也



【質問】例として、旧白川中学校の今後の活用方法について、所見を伺う。

【答弁】【市長】文部科学省の『〜未来につながる〜「みんなの廃校」プロジェクト』に掲載し、提案を募っている。これまで複数件の問い合わせを受けており、説明や現地案内を行った実績はあるが、具体的な提案には至っていない。当面は適切な維持管理を行い、借用希望団体に貸し付けを行なっていく考えである。

【質問】廃校プロジェクトへの複数件の問い合わせについて、具体的にどのような問い合わせがあったのか伺う。

【答弁】【学校管理課長】件数としては、令和元年度が4件、令和2年度が2件、令和3年度が3件、令和4年度が3件、本年度が現在まで7件である。

内容は、外国人就労者宿泊施設、太陽光発電、老人福祉施設、タイヤ保管庫などさまざまだが、具体的な話にはなっていない。

【質問】廃校の活用は、本市と仙台大学との包括連携協定が生かせると思われるが、所見を伺う。

【答弁】【市長】具体的な取り組み内容や実施事項を双方合意の上決定することになることから、仙台大学から申し入れがあった際は、丁寧な協議をしたいと考えている。

【質問】さまざまな団体等へ廃校活用のアプローチを実施していく場合、施設のメンテナンスや老朽化の進んだ校舎をどう扱うかについて検討しているか伺う。

必要がある。その中で、国庫補助制度も視野に入れられるのではと考えるが、所見を伺う。

【答弁】【市長】旧白川中学校は、本市の実情や地域のニーズ等も踏まえ、有効活用について検討している。

国庫補助制度は、地方公共団体が実施する特定の事業、事務等に要する経費の一部が交付されるもので、具体的な事業が決まって初めて補助金のメニューから該当するものを申請することになる。

現時点での旧白川中学校の活用、利用状況だけでは、メンテナンス等に利用できる補助金はないと思われる。

市道の維持管理（除草）について

佐藤 龍彦



【質問】現在、本市では、市道の除草等の維持管理について、どのように対応しているのか伺う。

比較的軽微な作業は職員が行なっているが、重機を使用する場合などは業者に対応を依頼している。

また、除草等の維持管理については、幹線市道など交通量が多く、カーブや急勾配で見通しが悪い区間は、毎年シルバー人材センターなどに業務委託を行っており、各地域においては、地域の皆さまの自主的な活動により、道路除草等の環境整備に取り組んでいただいている。

引き続き自治会や関係機関と連携し、地域の協力をいただきながら市道の維持管理に努めていきたい。

【質問】自治会等で市道の除草等を実施した際に、燃料費等を支給するな

ご支援する考えはないのか伺う。

【答弁】【建設課長】道路の除草については「自助、互助、共助の理念」のもと、地域の皆さまのご協力により市内全域で行われている。燃料費の支給などの支援策についてはさまざま検討したが、本市ではほぼ全ての自治会において、何らかの除草や支障木伐採等へのご協力をいただいております。作業実績の確認など、現状ではさまざまな課題があることから、直ちに実施することは難しいものと考えている。引き続き他の自治体の事例を研究していきたい。

その他の質問

◎子ども医療費助成の拡充について

◎本市の投票環境について

◎本市の教育及び教員の労働環境について

公立刈田総合病院の運営状況について

佐久間 儀郎



しつじゆ。

〔質問〕医師が退職した診療科の現状と、新たな診療科の予定を伺う。

〔質問〕入院患者数、医療収益、救急外来、救急車による搬送受入れ実績を伺う。

〔答弁〕〔病院事業管理室長〕7月の実績で、入院患者数は稼働病床152床に対し一日平均113床、約75%の稼働率であり、指定管理者制度開始前の令和5年3月と比較すると一日当たり18人、13ポイント改善。医療収益は、約2億2千万円を計上。令和5年3月と比較し、約2千万円増加。救急外来、救急車の搬送受け入れ数は345件で、うち救急車の受け入れが113件。救急外来受付数で96件、救急車受け入れで47件増加

〔質問〕7月から整形外科の手術を開始しており、脊椎や膝の予定手術だけでなく、高齢者の転倒による大腿骨骨折の緊急手術も行なっている。産婦人科は子宮頸がん検診を中心に、週4日の診療体制を整えることができた。

〔質問〕医師が退職した診療科の現状と、新たな診療科の予定を伺う。

〔答弁〕〔市長〕小児科は週2回の外来診療を再開。今後、常勤医師の採用を予定している。神経内科は総合診療科で治療を継続、特に問題は発生していない。

7月から整形外科の手術を開始しており、脊椎や膝の予定手術だけでなく、高齢者の転倒による大腿骨骨折の緊急手術も行なっている。産婦人科は子宮頸がん検診を中心に、週4日の診療体制を整えることができた。

今後、常勤医師の採用を予定している。神経内科は総合診療科で治療を継続、特に問題は発生していない。

〔質問〕従来53床から47床増やし、100床にする

〔質問〕空き病床について、地域ニーズ、住民サービスを最適化できるように検討していると思うが、状況を伺う。

〔答弁〕〔市長〕空き病床の活用は大変重要と考える。医療以外の施設として使用する場合は、さまざまな工夫、課題があり、指定管理者とも協議を重ねていきたい。

〔質問〕令和5年度「全国学力・学習状況調査」の学力テストの結果を伺う。

〔答弁〕〔教育長〕小学校国語は、目標としていた全国平均と同数の結果となり、その他の教科でも全国平均に年々差を縮めている状況である。さらに、小学校国語・算数、中学校国語・算数において、全国平均を上回る学校が複数校あった。

〔質問〕令和5年度「全国学力・学習状況調査」の学力テストの結果を伺う。

〔答弁〕〔教育長〕生活・学習習慣「規範意識・自己有用感(自分は誰かの役に立つ存在である)」学習に対する興味・関心「3つの領域で調査している。小・中学校ともに学習に対する興味・関心」が、小学校においては「自己有用感」が全国平均よりも高い結果である。小・中学校の「生活習慣・学習習慣」、小学校の「規範意識」は全国平均とほぼ同等、課題は中学校の「規範意識」が全国よりもやや低い結果であったことである。

〔質問〕本市の目指すべき教育の在り方について伺う。

〔答弁〕〔教育長〕少子化の進行、人口減少は学校教育の在り方にも大きな影響を及ぼしている。さらに、特別支援教育の対象児童・生徒、不登校児童・生徒の増加などに対し適切な支援が求められる。学校教育には、「2040年以降の社会を見据えた持続可能な社会の創り手の育成」「ウェルビーイング(協調的な幸福感)の向上」が求められている。また、「全ての子どもたちの可能性を引き出す個別最適な学びと協働的な学び」の一体的な充実を図り、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた取り組みをさらに進化させ、教育の質の向上を目指す。〔他の質問〕

〔質問〕学校の不審者侵入防止対策について

〔質問〕学校の不審者侵入防止対策について

学力向上について

村上由紀



学力の改善を推進させた要因の一つと捉えている。

〔質問〕学習状況調査について伺う。

〔答弁〕〔教育長〕生活・学習習慣「規範意識・自己有用感(自分は誰かの役に立つ存在である)」学習に対する興味・関心「3つの領域で調査している。小・中学校ともに学習に対する興味・関心」が、小学校においては「自己有用感」が全国平均よりも高い結果である。小・中学校の「生活習慣・学習習慣」、小学校の「規範意識」は全国平均とほぼ同等、課題は中学校の「規範意識」が全国よりもやや低い結果であったことである。

〔質問〕令和5年度「全国学力・学習状況調査」の学力テストの結果を伺う。

〔答弁〕〔教育長〕生活・学習習慣「規範意識・自己有用感(自分は誰かの役に立つ存在である)」学習に対する興味・関心「3つの領域で調査している。小・中学校ともに学習に対する興味・関心」が、小学校においては「自己有用感」が全国平均よりも高い結果である。小・中学校の「生活習慣・学習習慣」、小学校の「規範意識」は全国平均とほぼ同等、課題は中学校の「規範意識」が全国よりもやや低い結果であったことである。

〔質問〕令和5年度「全国学力・学習状況調査」の学力テストの結果を伺う。

〔答弁〕〔教育長〕生活・学習習慣「規範意識・自己有用感(自分は誰かの役に立つ存在である)」学習に対する興味・関心「3つの領域で調査している。小・中学校ともに学習に対する興味・関心」が、小学校においては「自己有用感」が全国平均よりも高い結果である。小・中学校の「生活習慣・学習習慣」、小学校の「規範意識」は全国平均とほぼ同等、課題は中学校の「規範意識」が全国よりもやや低い結果であったことである。

〔質問〕令和5年度「全国学力・学習状況調査」の学力テストの結果を伺う。

〔答弁〕〔教育長〕生活・学習習慣「規範意識・自己有用感(自分は誰かの役に立つ存在である)」学習に対する興味・関心「3つの領域で調査している。小・中学校ともに学習に対する興味・関心」が、小学校においては「自己有用感」が全国平均よりも高い結果である。小・中学校の「生活習慣・学習習慣」、小学校の「規範意識」は全国平均とほぼ同等、課題は中学校の「規範意識」が全国よりもやや低い結果であったことである。

未就学の発達障害の支援について

佐久間 順子



〔質問〕発達障害などを抱える子どもの就学支援、その後の特別支援教育について、本市の対応を伺う。

〔質問〕発達障害の早期の発見方法、早期の支援について、子どもや保護者へどのように行なっているか伺う。

〔答弁〕健康推進課長 1歳6カ月児、2歳6カ月児、3歳6カ月児健診において、保護者が記入する問診票や子どもとのやりとりを通し、成長発達を確認している。発達障害が疑われる場合も、幼稚園や保育園での子どもの様子を保護者と共有し、保健師も加わり今後の支援について話し合いの場を持ち、必要があれば専門機関への相談を支援している。

〔質問〕本市において、障害者手帳が該当しない子どもの福祉サービスについて伺う。

〔答弁〕保健福祉部長 未就学で発達の遅れのある子どもには、日常生活の基本的な動作の指

導、集団生活の適応訓練を行う児童発達支援が受けられるほか、放課後等デイサービス、日中一時支援事業もある。経済的支援として、法で定める知的または精神障害等の程度により、手帳がなくても特別児童扶養手当を受給することができ。

〔質問〕今後の障害児施策について、課題もあると思うが、市長の見解を伺う。

〔答弁〕市長 障害を抱える子どもや家族に対して最善の利益を考慮し、健やかに成長できるように、障害の疑いがある段階から、専門的な発達支援を提供することが重要であると認識している。子どものライフステージを通じて、保健や医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関が連携を図り、切れ目のない一貫した支援体制を構築していきたい。

市施設防犯カメラの増設について

大森 貴之



〔質問〕本市においても防犯カメラが設置されているが、どのような効果が得られたのか伺う。

〔答弁〕財政課長 市役所に不審な方が侵入した際、防犯カメラに記録がされており、警察に証拠資料として提出し対応した。

〔質問〕市役所本庁舎内の現在の設置台数、設置箇所で十分と考えているのか伺う。

〔答弁〕財政課長 設置にあたっては効果などを考慮し、人の出入りが多いところを中心に設置している。台数、箇所については状況に応じて対応していくことで

調整を図っていく。

〔質問〕市役所本庁舎前駐車場の防犯カメラ設置を確認しているが十分ではないと考える。この点について見解を伺う。

〔答弁〕財政課長 本庁舎駐車場についても本庁舎建物内と同様に設置効果などを考慮し、状況に応じて設置台数、設置箇所の調整を図っていく。

〔質問〕城下広場駐車場において、防犯カメラの設置を確認しているが、そこに設置した選定理由を伺う。

〔答弁〕財政課長 駐車場の一角にトイレが設置されており、総合的に検討して場所の選定をした。

〔質問〕防犯カメラを設置したことにより、不法投棄の防止や家屋等

へのいたずら防止等、設置の効果が多く取り上げられている。市関連施設における防犯カメラの設置は、市民をはじめとする利用者の安全と施設等の財産および職員的身を守るためにも重要であると考え

より効果的な運用をするためにも、設置箇所の検討も含め、増設の必要性を強く要望するが、見解を伺う。

〔答弁〕市長 防犯カメラの設置は、利用者の安全と施設等の財産および職員の身を守るためにも大変重要であると考ええる。

現在の警備業務委託の契約期間が令和6年度までとなっており、防犯カメラも設置から約10年が経過し、機器の更新時期を迎えることから、設置箇所や増設等の検討を行う一つのタイミングであると考えている。

今後の本市の行財政運営について

角張 大治



根拠を伺う。

〔質問〕令和5年度から国民健康保険税率引き上げ、前年度は給食費の引き上げも検討された中、市民生活に直接影響する施策の充実を図るべきと考えるが、市の見解を伺う。

〔答弁〕〔市長〕令和5年度予算は、限りある財源の「選択と集中」を意識し、市民生活に直接影響のある施策にも配慮している。

◎白石市スポーツ・レクリエーション施設個別施設計画について

〔質問〕本計画書の評価結果で、今後の利用見込みを6施設中5施設で「増加・横ばい」とした

いよう、公共施設の役割や利用実態を検証した上で、財政状況に見合うように減らすことも考えるべき」との回答が74.4%であった。

市の見解を伺う。

〔答弁〕〔市長〕人口減少の進展とともに、施設利用者数も減少傾向にあるが、複合化、集約化、用途転用等の方向性決定には年月を要する。

二一ズの変化等を把握する際は、市民アンケートも参考にしたい。

〔質問〕公共施設等総合管理計画に、施設の延べ床面積を「何年間で何%削減」等と定めた自治体もある。本市は数値目標を立てる等の見直し予定はあるか。

〔答弁〕〔市長〕市域が広範囲、かつ、地域ごとの特色がある本市における数値目標設定は難しいと感じている。

また、「将来の世代に負担を強いることのない」

新議会に対する市長の所感と期待について

四 竈 英 夫



にとつて最善な結論を見いだしていきたい。

◎市民プールの新設について

〔質問〕7月に改選された新しい議会に対する所感を伺う。

〔答弁〕〔市長〕新たな議会に対し身の引き締まる思いである。行政と議会は車の両輪である。それぞれの立場で市民の負託に応える努力をしていきたい。

〔質問〕新しい議会とどのような連携を図り、市政運営を図っていく考えか伺う。

〔答弁〕〔市長〕持続可能な白石市をつくるため、課題を先送りせず積極的な市政運営を続けていく。議会からもさまざまな提案をいただき、行政と議会のそれぞれの立場で議論を重ね、市民

〔質問〕今年度の夏は連日猛暑日が続く、夏休み中やプール授業に苦慮されたと思うが、本市独自のプール建設についての考えを伺う。

〔答弁〕〔教育長〕本市の学校プールは築30年以上のものがある割合を超えており、限界に達している。教育委員会として、通年全天候型のプールの建設を市長に要望したところである。

〔質問〕独自建設の場合の規模、運用の方法を伺う。

〔答弁〕〔副市長〕教育委員会からの要望を受け、庁内に「市民プール及び小・中学校プールの在り方検討会」を設置し検討している。小・中学校共

同利用の全天候型25mプールで、市民も利用できるよう想定している。

〔質問〕建設予定候補地はあるのか伺う。

〔答弁〕〔副市長〕地理的、地盤などの条件を考慮して検討していく。

◎小中学校の統合について

〔質問〕児童・生徒数の減少に伴い、今後10年間で小中一貫の中規模校、小規模校、不登校特例校に再編する答申がなされているが、見解を伺う。

〔答弁〕〔教育長〕白石市学校教育・保育審議会からの答申は、幅広い層の委員により出されたものであり、大変重いものであると認識している。

〔質問〕大幅な再編案であるが、PTAなどの理解を得る方策を伺う。

〔答弁〕〔教育長〕説明会を開催し、幅広い層に対して丁寧な説明を行い、ご意見やご理解をいただきたいと考えている。

人事

9月定例会において、次のとおり選任・推薦することに同意しました。

〔固定資産評価審査委員会委員〕

〔任期〕令和5年9月1日～令和8年3月26日〕

遠藤 信利 氏

〔教育委員会委員〕

〔任期〕令和5年10月1日～令和9年9月30日〕

志村 洋一 氏

〔人権擁護委員〕

〔任期〕令和6年1月1日～令和8年12月31日〕

佐藤 裕美子 氏

樋渡 佐智子 氏



意見書

定例会最終日（9月22日）

議員提案として次の意見書が上程され、採決の結果、全会一致で可決されました。意見書は関係機関に送付されました。

◎宮城県の乳幼児医療費助成制度（子どもの医療費助成制度）の拡充を求める意見書（概要）

子ども医療費助成は、都道府県ごとに補助水準が異なる上、各自治体が単独事業として独自に上乘せ助成を行なっているため、自治体間での格差が生じている。

特に宮城県の場合は、県の乳幼児医療費助成制度の対象年齢が就学前までであり、所得制限があることから、自治体間での格差に拍車をかけている。

宮城県は、2022年の合計特殊出生率が1.09と、4年連続で過去最低を更新する危機的状况である。事態打開のためには、県内各自治体が一丸となって子育て支援策を

充実・強化し、安心して子どもを産み育てることができるよう環境づくりを推進していかなければならぬ。

よって、宮城県においてはより一層のリーダーシップを発揮し、下記事項において早急に実現するよう求めるものである。

1. 県の乳幼児医療費助成制度について、18歳までの対象年齢の引き上げおよび所得制限を撤廃すること。

2. 全国一律の制度となるよう、制度の整備について国へ強く働きかけること。

以上、地方自治法第99条の規定により、意見書を提出する。

白石市議会会議録を公開しています

白石市議会 会議録

検索

市議会のホームページに会議録を公開しております。キーワードでの検索のほか、会議・発言者・期間でも検索できます。どうぞご覧ください。

議会を傍聴してみませんか

12月定例会は、12月1日（金） 午前10:00開会予定です

氏名の記入など、簡単な手続きで傍聴ができます。また、会議の様子はインターネット（YouTube）でライブ配信しています。これまでの録画映像もご覧になれます。

- 8月臨時会の傍聴者数 2人
- 9月定例会の傍聴者のべ人数 20人
- 中継・録画視聴回数（8～9月） 5,657回



編集後記

市議会議員選挙後、初めての議会だよりをお届けします。

9月定例会の主な議案は令和4年度一般会計歳入歳出決算の内容を審議するものでした。総額205億9億円の歳入予算がどのように執行されたか、慎重に審議が行われた結果、全会一致で原案のとおり認定されました。

また、補正予算では昨年3月の地震で被災したホワイトキューブ・コンサートホールの災害復旧予算等が上程され可決されました。

「新しい皮袋には新しい酒を」という言葉があります。

新人議員4人が加わり、新しい感覚の議会だよりをお届けしますので、今後ともよろしくお願いたします。

議会広報委員会

委員長 四電 英夫

議会広報委員会 委員

委員長	四電	英夫
副委員長	村上	由紀
委員	佐藤	龍彦
委員	高子	秀明
委員	大森	貴之
委員	角張	大治
委員	大内	卓也
委員	佐久間	順子